

PID コントローラのソフトの使い方

■MPLAB X IDE v5.45

開発言語は C で MPLAB X IDE v5.45、PICKIT4 で開発しました。

MPLAB X IDE を起動し、C:\¥pid¥pid¥pid0.X フォルダをプロジェクトに指定すれば、main.C が source として表示できます。あとは注釈文を参考にしてください。

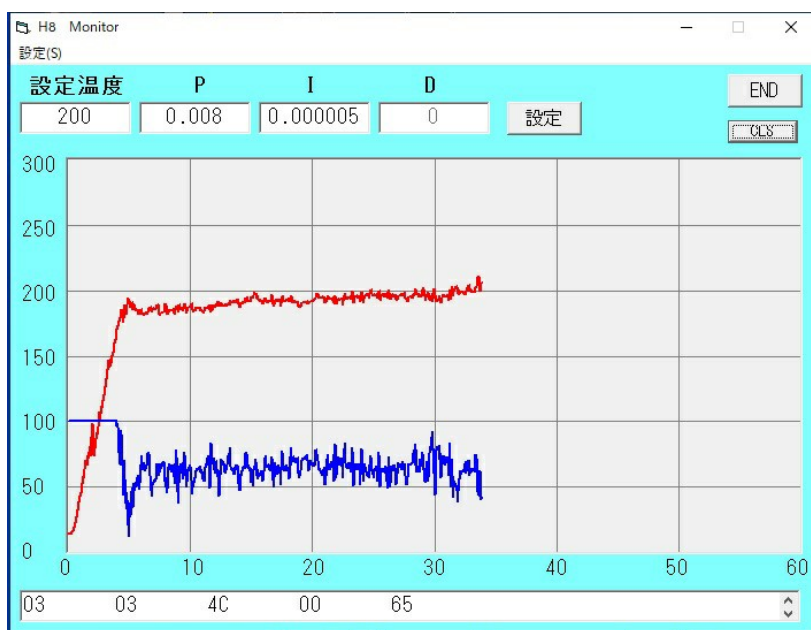
■VB6 によるパソコンからの使い方

VB6 を持っている方は TC_Cont.vbp を、持っていない方は TC_Cont.exe を起動すれば PID コントローラをパソコンから制御、温度と出力の時間変化を表示できます。

最初に実行すると、「設定のポートを開くことができません。強制的に開きますか？」と出るので「いいえ」をクリックします。すると



が表示されるので、USB-SERIAL CH340 (COM5) の COM 番号を設定します。「設定」をクリックすると以下の本画面が表示されます。



PID 制御器が動作していると、スイッチの ON/OFF 状態、熱電対のデータ(2 バイト)、出力のデータ(2 バイト)が一番下のテキストボックスに表示されます。と同時に温度と出力の時間変化が図で表示されます。

設定温度、P 値、I 値、D 値(本ソフトでは無効)に設定値を入力し、設定ボタンをクリックするとその値が PID 制御器に設定されます。同時に初期化ファイルにその値が保存されます。次回起動時はその設定値が表示されます。

CLS ボタンをクリックすると温度、出力画面はクリアされ、0 分から新たな表示が開始されます。

END ボタンをクリックすると本プログラムは終了します。